

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス水海道教室			
○保護者評価実施期間	8年 2月 19日 ~ 8年 3月 13日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	8年 1月 19日 ~ 8年 1月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 20日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団の中で児童発達支援のお子様と一緒に活動する機会があります。	運動遊びの課題において年少者と同じチームにしたり、ペアを組んだりしています。	年少者への思いやりや優しい気持ちを育む環境を提供しています。年少者から慕われることで、自己有用感を高められる事ができるように支援していきます。
2	お子様の趣味や特技に合わせた会話や支援を提供することができます。お子様一人ひとりに合わせた運動用具やメニューを提供しています。	お子様一人ひとりの好きな事・やりたい事を把握し、それに合わせた教材や話題を提供することで、そこからさらに別の物への興味に広がるように支援しています。	好きな事・興味のあること以外の生活に必要な学習や知識についても気持ちを向けて取り組む事ができるように支援していきます。
3	避難訓練を実施することで防災・防犯の意識を高められる様にしています。	地震・火災・水害・不審者など、災害の種類に応じて避難訓練をしています。消防署立ち合いの総合防災訓練では、お子様も消火訓練に参加して頂いています。	避難訓練を継続し、防災・防犯への意識を高められるように支援します。煙が充満した想定として目を閉じた状態で壁伝いに避難する練習も取り入れていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	お子様送迎の際、保護者様に対して活動内容やその日の様子を十分にお伝えすることができない場面があります。	送迎時、ご利用者様一人ひとりの時間が限られてしまっています。特に、送迎ルートや送迎の順番によっては、簡単なご報告に留まります。	送迎のルートや順番を変えたり、個別に時間を作ったりすることで、詳しく説明・報告ができるように努めていきます。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他のこどもと活動する機会がありません。	平日下校後については、他児童との交流や活動する時間が限られてしまいます。	土曜日や祝祭日に公園や図書館などの施設を利用することで、交流の機会を増やしていきます。同法人の他教室のお子様と一緒に活動することも検討していきます。

3	保護者様同士の交流やペアレント・トレーニングの機会がありません。	送迎のちょっとした時間に保護者様同士で会話をする程度に留まります。イベントや行事を開催することができず、交流の場を提供することができていません。	年に一度でもお子様を連れて参加する事ができるイベントを開催することで、保護者様同士の交流の場をご提供できるよう努めていきます。
---	----------------------------------	--	---